



原水爆禁止
**あいち
平和行進**
2023 5/31-6/11

核兵器
なくそう!
NO WAR
NO NUKES

あ **る** **く**

発行：あいち平和行進共同連絡会
連絡先：愛知県原水協 TEL:052-932-3219 FAX:052-931-2651
mail: gensuikyo@lime.ocn.ne.jp

最新情報はWebで

あいち平和行進 検索 peace.march.peace-aichi.net



ツイッター
twitter.com/aichi_p_march

6月9日
まとめ
(金)

岩倉市役所→千秋病院
→浅野交差点→一宮市役所 葵公園
→江南市役所
大口町役場 (表敬訪問)

- ◆参加者 のべ320人 ◆ペナント 42本
- ◆折り鶴 26,700羽 ◆募金 30,400円
- ◆自治体からのペナント 26本 (本日までの累計)
- ◆自治体からの協賛金 61,000円 (本日までの累計)

非核・平和銀座通り② 核抑止の立場へのごうごうたる批判といかり



尾張健友会千秋病院の歓迎集会



●岩倉市役所

岩倉

- ◆参加者 のべ60人 ◆折鶴 3,000羽
- ◆募金 9,400円

自治労連の林委員長があいち平和行進共同連絡会を代表して挨拶「核兵器使用が危ぶまれている中、日本政府には核兵器廃絶の先頭に立って欲しいと訴えてきた。自治体と住民が一体になって取り組みを進めたい。からだに気をつけて、がんばりましょう」。

岩倉副市長の柴田さんは、平和行政の取り組みを紹介し「平和の活動は継続が大事」と。市議会議長の関戸さんも「平和に対する思いは高まっている」。

全国通し行進者の村上さん、わかやま市民生協の森さん、県内通し行進者の奥田さんがそれぞれ挨拶。折鶴、カンパ、署名が託されました。

岩倉市長は世界大会賛同署名も寄せていただいたことが紹介され、積極的な非核行政をこれからも期待して、千秋病院に向かう平和行進が出発しました。



●尾張健友会 千秋病院

千秋病院

- ◆参加者 のべ160人 ◆折鶴 10,000羽
- ◆ペナント 19本



千秋病院では職員のみなさんが冷たいお茶とお菓子、飴などで平和行進を出迎え。

集会では、尾張健友会の浅井さんが、民医連の綱領の中に核兵器廃絶が入っていることに触れ、毎年、世界大会に代表派遣していること、政府への署名が1607筆集まっていることを紹介。「今の政権は、過去の反省をどう思っているのか。核兵器禁止条約に入る政府にしていこう」と訴えました。くらし平和委員会の金平さんは「世界の反核運動は確実に広がっている。G7の岸田首相は裏切り行為。唯一の被爆国を禁止条約の席につかせたい、闘いを広げよう」

全国通し行進者の村上さんは「激励に感激。みなさんと一緒に、批准する政府にしていく元気が出ました」。

折鶴が通し行進者に託されたあと、病院内を平和行進。院内に2017年に長崎の被爆二世が植樹した「被爆くすのき」を見学して、浅野交差点に向かいました。



●一宮市役所 葵公園

一宮 ◆参加者 のべ50人 ◆折鶴 8,000羽
◆募金 21,000円 ◆ペナント 16本
◆日本政府に禁止条約への参加を求める署名 86筆



オープニングは一宮のうたごえ「トゥモロー」で「青い空は」「くすのき」を演奏。

一宮市役所の企画政策部次長の堀川さんが挨拶「国際情勢が複雑になっているが、平和は誰もが願っている。平和行進に期待してます」。残念ながら、ペナント、賛同金はありませんでしたが…。

全国通し行進者の村上さん、わかやま市民生協の森さん、県内通し行進者の奥田さんがそれぞれ挨拶。日本共産党の渡辺市議は、1995年、大学1年で世界大会に参加したことが平和運動のきっかけになったと話し「平和行進は大きな力になっている」。

●江南市役所

江南 ◆参加者 のべ50人 ◆折鶴 5,700羽
◆ペナント 7本

全国通し行進者の村上さん「8月4日に広島にたどり着く元気の源を、みなさんの激励からもらいました。G7の岸田首相に対する怒りを元気に変えて歩きます」とあいさつ。わかやま市民生協の森さんも「リレー7人目。岐阜へ引き継ぐまでがんばります」と決意を語りました。

教育部長の松本さんは、ヒバクシャ署名や子どもたちの派遣などの平和行政を紹介し「これからも平和事業、平和教育を進めたい」。被爆者の伊藤さん、金子さんが参加。



新婦人の5,700羽の折鶴をはじめペナント、折鶴が通し行進者に手渡されました。

江南市役所の集会には被爆者のお二人が参加



伊藤さんは広島、一発の原爆で一瞬のうちに14万人が亡くなった。話し始めると涙が出る。愛知の被爆者も昨年100人が亡くなった。「話したくないけど、今話さなくては。戦争でいいことなんか一つもない。青い地球を灰色にしないで。一步一步が平和につながる」。

金子さんは小学2年生の時に長崎の稲佐山付近の自宅で被爆。家の柱に首を挟まれて身動きできなかったこと、兄弟で手をつなぎ泣きながら逃げる途中「水をくれと言う人に足を掴まれないように歩け」と言われたことなど被爆体験を話し「若い人たちが先頭に立ってがんばって欲しい」と話しました。

●大口町

大口町役場に全国通し行進者をはじめ地元のみなさんで表敬訪問。議会議長の江口さんは、「町と連携していきたい。核兵器の悲惨さを風化させない」。

日本共産党の江幡さんは、義理の兄が5歳の時に2キロ地点で被爆していたと。大口町、市議会、共産党議員団よりそれぞれ賛同署名、賛同金が渡されました。

要請内容にも文書で回答していただき、意見交換では、大口町在住の被爆者のこと、被爆二世の問題、高校生の原爆の絵パネルのことなど意見が交わされました。



6/10 のコース

9:00 (集会) 11:00 (要請) 12:20 (昼食)
①小牧市役所→小牧基地→美濃町学供
14:00 (合流集会) 15:30 (集会)
施設→勝川駅 →春日井市役所

10:00 (表敬訪問)
②豊山町役場

10:00 (要請) 11:00 (要請)
③高蔵寺弾薬庫→春日井駐屯地